

NGKグループ
CSR調達ガイドライン

2016年6月（第4版）

日本ガイシ株式会社

資材部
CSR推進室

はじめに

「日本ガイシはより良い社会環境に資する商品を提供し、新しい価値を創造する」

当社はこの企業理念の下、事業活動を通じて社会のお役に立つ新しい商品やサービスを創造し、社会の持続的な発展に貢献していくことをCSR(企業の社会的責任)の最も基本的な目標として掲げ、取り組んでまいりました。

また2009年からは、当社の経営を“CSR経営”と呼べるものにステップアップしていくために、「新しい価値の創造」、「環境」、「コンプライアンス」の各側面で、当社が時代の要請にマッチした活動を適切に行っているか、レビューを行っていくことにいたしました。

当社のこうした取り組みの背景は、国の内外を問わず、グループ全体として、均質、かつお客様のニーズにマッチした製品・サービスの提供が求められるようになったことに加え、企業に対する社会の要請が、原料の調達、製品の製造・加工、販売にかかわるサプライチェーン全体の活動を通して、実現されることを求めるようになったことにあります。

申すまでもなく、企業は社会の信頼と支持を得ることなしに存立し続けていくことはできません。また同様に、当社は取引先の皆さまのご支援を得ることなしに、当社の社会的責任を果たし得ないものと考えております。

取引先の皆さまと日本ガイシグループの双方が持続的な成長を実現していくためには、今、CSRに対する前向きな取り組みが求められていることについて、ぜひご理解をいただきたいと思っております。

このような背景から、当社では2011年に日本ガイシグループとしての「CSR調達ガイドライン」を制定し、日本ガイシおよび国内外のグループ会社での運用を開始いたしました。

このたび、近年のCSRにかかわる社会的状況の変化、および企業を取り巻く環境の変化などを踏まえ、これまでのCSR調達の考え方をより明確に示すため、「日本ガイシグループ CSR調達ガイドライン」の一部改定を行うことにいたしました。本ガイドラインは日本ガイシのCSR活動の内容、NGKグループ企業行動指針、および購買基本方針に続き、日本ガイシグループの「CSR調達ガイドライン」をご説明しています。

取引先の皆さまにおかれましては、本ガイドラインの趣旨をご理解いただき、自社内への取り込みを実践していただけますようお願い申し上げます。また、皆さまのお取引先に対しても、同様のご理解、取り込み実践のご要請をお願いいたします。

目 次

I. 日本ガイシのCSR	P4
II. NGKグループ企業行動指針	P6
III. 日本ガイシの購買基本方針	P8
IV. NGKグループ「CSR調達ガイドライン」	P9

I. 日本ガイシのCSR

企業理念

日本ガイシはより良い社会環境に資する商品を提供し、新しい価値を創造する。

日本ガイシの考えるCSR

日本ガイシは、独自の技術を生かし、社会インフラに不可欠な製品や環境に貢献する製品をグローバルにお届けしています。

私たちは、企業理念を形あるものにして社会に貢献するために、より良い社会環境づくりのお役に立ち、社会に新しい価値をもたらす製品やサービスをこれからも提供していきたいと願っています。

それにより、社会の皆さまの期待と信頼を獲得し、お客さまや従業員、取引先の皆さまとともに、企業の社会的責任を全うしていこうと考えています。

当社では、この考え方をグループ全体で共有するため、「NGKグループ企業行動指針」を制定し、日々の企業活動を通じて、ステークホルダーの皆さまからより信頼していただける企業づくりをめざして取り組んでいます。

また、2009年のCSRレポートの発刊にあたり、8項目の「CSR推進項目」を定め、これを毎年、CSR活動のレビュー対象としていくことを決めています。

日本ガイシグループは、これらの活動を通じて、社会の持続可能な発展に貢献していきます。

取引先の皆さまには日本ガイシの考えるCSRの趣旨にご賛同いただき、それを順守されることを期待します。

なお、日本ガイシグループがCSRにおける貴社での順守状況などをお尋ねするため、取引先の皆さまに調査票などへの回答をお願いした場合には、ご協力をお願いします。

CSR推進項目

① より良い社会環境に資する商品の提供

- 地球環境保全に貢献する製品・サービスの開発、提供
- 安全・安心を実現する製品・サービスの開発、提供
- より高品質な製品・サービスの実現

② 企業情報の開示

- 企業情報発信の充実
- 財務報告に係る内部統制のスパイラルアップ

③ コンプライアンスの徹底、リスクマネジメント

- NGKグループ企業行動指針の徹底、教育の実施
- リスクマネジメント体制の強化
- 知的財産権の尊重・保護
- 情報セキュリティの構築、レベルアップ
- 独占禁止法・下請法などの取引関連法規の順守
- 輸出管理関連法規の順守

- ④ **人間性の尊重、快適な職場環境の確保**
 - 安全・快適な職場環境の維持、レベルアップ
 - グループとしての人財開発、人材登用
 - 多様な人材活用の実現
 - 職場と家庭、子育ての両立支援
- ⑤ **公正、自由、透明な取引の実践**
 - 公正・公平な調達パートナー評価とリソースの複数化徹底
 - CSR 調達の推進
- ⑥ **地球環境の保全**
 - 地球温暖化防止
 - 環境に優しい生産プロセスの導入
 - 資源循環の推進
 - グローバル環境管理の強化
- ⑦ **地域社会との協調、社会貢献活動の推進**
 - 留学生への奨学、生活支援
 - 地域社会・労組・NPO などと協調した社会貢献活動
 - 従業員のボランティア活動に対する支援
- ⑧ **ステークホルダーとのコミュニケーション**
 - お客さま・調達パートナーとのコミュニケーション活動
 - 工場見学・オープンハウスなどを通じた地域社会との交流
 - CSR トークライブ（CSR 実践に向けた従業員各層との対話）

II. NGKグループ企業行動指針

日本ガイシは、企業市民として国内、海外を問わず 広く社会にとって有益な存在であり続けたいと願っています。

日本ガイシグループで働くすべての人が法令や企業倫理を順守して行動するための指針を明確にし、実施するための社内体制を整備しています。

NGKグループ企業行動指針

1. 企業理念の実現

(1) より良い社会環境に資する商品の提供

長期のグローバルな視点に立ち、地球環境を守り社会の安全・安心を実現する商品やサービスの提供を通じて、新しい価値の創造に取り組みます。

品質と安全性の追求により、お客さまと社会からの信頼を獲得します。

2. 企業活動のあり方

(2) 企業情報の開示

経営の透明性を高め、日本ガイシグループに対する社会の信頼を得るために、経営情報、財務情報、商品・サービスに関する情報など、広く社会が求める情報を正確かつタイムリーに発信します。

(3) コンプライアンスの徹底、リスクマネジメント

各国、地域の法令やルールを守り、国際間の取り決めに尊重して、コンプライアンスを徹底します。

誠実で高い倫理観のある人材を育成します。また、内部統制システムの構築とリスクマネジメントの実践を通じて、会社の資産や信用、第三者の権利を守ります。

(4) 人間性の尊重、快適な職場環境の確保

人材の採用、処遇は公正・公平に行い、安全・快適で、家庭と両立する働きやすい職場環境を提供します。多様な人材が挑戦できる場と機会を設け、知識や技術の習得を通じて人材の成長を支援します。

職場におけるいじめ、差別、ハラスメントなど人権に反する行為の発生を防止し、違反行為があった場合には迅速に適切な対応をとります。

(5) 公正、自由、透明な取引の実践

対等な良きパートナーとして、取引先との共存共栄を目指し、公正、自由、透明な取引を行います。

また、日本ガイシグループのサプライチェーン全体で、企業の社会的責任を果たす取り組みを推進します。

3. 社会の一員として

(6) 地球環境の保全

事業活動を行うすべての拠点、すべてのプロセスで、率先して環境負荷の低減に取り組み、地球環境の保全に貢献します。

地域の環境保全活動に協力し、従業員の取り組む活動も積極的に支援していきます。

(7) 地域社会との協調、社会貢献活動の推進

各国、地域の社会的課題に関心を持ち、地域に信頼される企業市民であることを目指して、地域のニーズに応じた社会貢献活動に積極的に取り組みます。

(8) ステークホルダーとのコミュニケーション

お客さま、取引先、株主、従業員、地域社会の方々など、すべてのステークホルダーとの対話を通じて、日本ガイングループへの理解を広げるとともに、寄せられた意見に基づいて会社の活動をレビューし、社会的責任を果たすための取り組みに生かしていきます。

Ⅲ. 日本ガイシの購買基本方針

日本ガイシグループは、法令や社会規範の順守を基本に公正、自由、透明な取引の実践を目指しています。

国内外を問わず、新規に取引を希望される企業さまにも広く門戸を開放し、その採用にあたっては、公正・公平な評価と取引先(リソース)の複数化徹底に努めています。

複数の企業の中から、品質や価格、納期の評価に加え、日本ガイシグループが推進している「CSR調達」を満たしているかなどを考慮して、最適な取引先を採用するようにしています。

1. 門戸開放(Open & Fair)

- ・ オープンで公正かつ公平な調達
- ・ 競争原理と経済性の追求

2. 共存共栄(Partnership)

- ・ サプライヤーとの相互信頼に基づく相互繁栄

3. 社会的協調(Relationship with Society)

- ・ 法の順守
- ・ 地球環境の保護

IV. NGKグループ「CSR調達ガイドライン」

日本ガイシグループの「CSR調達ガイドライン」は、3つの購買基本方針に従って、それぞれに取引先の皆さまに取り組みをお願いしたい項目をとりまとめたものです。

日本ガイシグループは、皆さまの社内においても下記項目への取り組みをお願いいたします。

具体的には、取引先の皆さまにNGKグループ「CSR調達ガイドライン」を順守することへの同意をお願いするとともに、皆さまのお取引先に対しても同様な取り組みを展開していただくようお願いいたします。

[CSR調達ガイドライン]

■ 門戸開放(Open & Fair)

1. オープンで公正かつ公平な調達

1-1 「腐敗防止」

不当な利益、優遇措置の取得、維持を目的に、あらゆる利害関係者への違法な贈与、支払い、対価、金銭的または金銭以外の利益供与などの贈賄は行わない。

1-2 「知的財産権の尊重、保護」

自社保有、あるいは自社に帰属する知的財産権を保護するとともに、第三者の知的財産の不正入手、使用、権利侵害を行わない。

1-3 「競争法の順守」

各国、地域の競争法を順守し、私的独占、不当な取引制限、優越的地位の濫用などの不公正な取引を行わない。

1-4 「輸出管理関連法規の順守」

各国、地域の法令等で規制される技術、物品などの輸出に関して、適切な輸出手続き、管理を行う。

1-5 「責任ある資源、原材料調達」

人権侵害、貧困などの社会問題を引き起こす原因となり得る原材料(例、紛争鉱物:コンゴ民主共和国、および隣接諸国から産出されるスズ、タンタル、タングステン、金の4種鉱物で、かつ同地域の武装勢力の資金源となっている鉱物)の使用による地域社会への影響を考慮した調達活動を行うものとし、懸念のある場合には使用回避に向けた施策を行う。

2. 競争原理と経済性の追求

2-1 「競争原理と経済性の追求」

資材調達では市場の競争原理に基づいて、最適な品質のものを、適切な価格で、最短納期、かつ長期に安定して提供できるように継続して努める。

■ 共存共栄 (Partnership)

3. サプライヤーとの相互信頼に基づく相互繁栄

3-1 「ステークホルダーへの情報開示」

経営、財務、環境保全、社会貢献などの有用な情報をステークホルダーに対して、適時、適切に開示するとともに、オープンで公正なコミュニケーションを通じてステークホルダーとの相互理解、信頼の維持、発展に努める。

3-2 「情報セキュリティー」

コンピューターネットワーク上の脅威に対する防御策を講じて、自社および他社に被害を与えないよう管理する。

また、顧客、第三者、従業員の個人情報、および顧客、第三者の機密情報は、正当な方法で入手するとともに、適切な範囲で利用し、厳重に管理、保護する。

3-3 「地域への貢献」

良き企業市民として、事業所の所在する地域社会および国際社会に貢献できる活動を積極的に継続する。

■ 社会的協調 (Relationship with Society)

4. 法の順守

4-1 「法令の順守」

各国、地域の法令を順守する。コンプライアンスの徹底のための全社的な方針や体制、行動指針、教育などの仕組みを構築、運用する。

4-2 「人権尊重／差別の撤廃」

基本的人権を尊重し、人種、国籍、信条、性別、障害などによる差別行為は行わず、機会の均等な付与と公正な処遇を行う。

4-3 「強制労働の禁止」

全ての労働は自発的であること、および従業員が自由に離職できることを保証するとともに、強制労働を行わない。

4-4 「児童労働の禁止」

各国、地域の法令による就労可能年齢に達しない児童の労働は行わない。

4-5 「賃金」

最低賃金、超過勤務、賃金控除、出来高賃金、その他給付などに関する各国、地域の法令を順守する。

4-6 「労働時間」

従業員の労働時間の決定、および休日、年次有給休暇の付与などについて、各国、地域の法令を順守する。

4-7 「安全衛生」

従業員の職務上の安全、健康を満たす職場環境を確保するとともに、事故、災害の未然防止に努める。

4-8 「従業員との対話・協議」

従業員は報復、脅迫や嫌がらせを恐れずに、経営層と対話・協議などのコミュニケーションをとることができる。

4-9 「反社会的勢力の排除」

社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体との関係を排除する。

5. 地球環境の保護

5-1 「法令の順守」

各国、地域の環境関係法令などを順守する。

5-2 「環境マネジメント」

全社的な環境管理システムを構築し、継続的な運用、改善に努める。

5-3 「温室効果ガスの排出削減」

事業活動における温室効果ガスの排出管理を行い、削減活動を推進する。

5-4 「省資源、廃棄物削減」

廃棄物の適正処理を行うとともに、発生量抑制、リサイクルを推進し資源の有効活用に努める。

5-5 「化学物質管理」

事業活動で使用する化学物質を適正に管理、削減して、大気、水、土壌などの汚染防止に努める。
また、製品に含有する化学物質の確実な管理に取り組む。

5-6 「生物多様性保全への取組み」

生物多様性保全に向けた取組みに努める。

5-7 「水資源への取組み」

各生産拠点における水資源に関するリスク管理と水利用効率化への取組みに努める。

■ NGKグループ「CSR調達ガイドライン」への同意に関するお願いについて

NGKグループ「CSR調達ガイドライン」をお読みいただいた上で、下記の質問にご回答をお願いします。

質問ー1 NGKグループ「CSR調達ガイドライン」の趣旨を理解した。

- 1. はい
- 2. 一部は理解した
- 3. いいえ

「はい」以外 の場合、趣旨を理解できなかった項目、および理由の記載をお願いします。

.....
.....

質問ー2 NGKグループ「CSR調達ガイドライン」を順守することに同意する。

- 1. はい
- 2. 一部は同意する
- 3. いいえ

「はい」以外 の場合、同意できない項目、および理由の記載をお願いします。

.....
.....

■ 貴社ご回答責任者

会社名 _____

部署名 _____

役 職 _____

お名前 _____

E-Mailアドレス _____

確認のため再度ご記入下さい

E-Mailアドレス _____

上記「同意に関するお願い」のご回答につきましては、日本ガイシおよび同グループ※と共同利用させていただきます。NGKグループ「CSR調達ガイドライン」は日本ガイシグループのお取引先に発信し、ご回答をいただくようにしています。ご回答の利用目的は、本ガイドラインの周知と同意可否状況の確認、および同意をいただけなかった箇所の把握です。

上記ご回答にてご提供いただきました個人情報(氏名、連絡先など)は、利用目的の範囲内で利用させていただきます。なお、お願いする内容に関してご賛同をいただけない場合は、その旨を文書にてご連絡をいただきますようお願いいたします。

ご多忙の折、誠に恐縮ではありますが、ご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

共同利用に関する管理責任者: 日本ガイシ株式会社 資材部

※ 具体的なグループ企業名は下記の日本ガイシホームページに掲載しています。

<http://www.ngk.co.jp/info/outline/group.html>